

「田城議員とOBとの集い」に参加！

JR 総連OB連絡会は、9月15日の定期総会終了後に、議員会館会議室で「田城議員とOBとの集い」を開催しました。当日は、臨時国会が開催されている中、時間を割いて出席してもらった田城参議院議員とざつくばらんに話し合いを行いました。

貨物労組から、①東日本大震災での迂回列車の運転など、全国一本のレール輸送の重要性と国交省への取り組みのお礼と今後の協力要請、②社会保障制度



と「税の一体化」議論と今後の展望について、③脱原発についての政・財界の動向はどうか。等について発言しました。

これに対して、田城議員は、①東日本大震災に対して、大量のガソリンを被災地に運んだことは、高く評価されている。25年問題を含めて、手足を縛られているJR貨物の状況を踏まえて、今後も努力していく。②社会保障

制度と「税の一体化」の中で、議論を進めてきているが、国家財政の危機的状況と少子高齢化社会の状況で、制度の改革・改善は難しい。当面、医療関係は1月の通常国会に提出予定であり、引き続き努力していきたい。③原発推進派は、「取り出したプルトニウムを使って、90日で核兵器を作れる」これにより、「核抑止力」として、手放したくないのが本音である。自然エネルギーへの転換により、原発を減少させていきたい。

集いは、約1時間30分にわたり、さまざまな意見交換をしました。今後も「集い」を継続しながら、5年後に向けて更に、努力していくことを確認して終わりました。

